



一緒に学ぼう，遊ぼう，みんなの「学び舎」で！
～学び舎コホミン～



令和5年11月30日（木）
さわやかちば県民プラザ

子どもも大人もより元気に, みんなの元気があふれる コホミン(我孫子市湖北地区公民館)



- ・我孫子市に2つある公民館の1つ
- ・平成4年開館(31年目)
- ・平成29年, 公募により愛称「コホミン」決定
- ・年間約300の団体が利用, 約100の自主事業を実施
- ・市の児童館的役割を担う
- ・ホール併設(客席250, スタインウェイD274設置)
- ・指定管理者はアクティオ株式会社

その1 「学び舎コホミン」は 特別支援学校の卒業生等の学びと仲間づくりの場



○月1回, 土曜日の午前中に開催
(R4年度は9回開催)

○受講者が興味のある活動を選ぶ

○川村学園女子大生がともに活動
しながら支援

その2 年9回の学び・仲間づくり①



ボッチャ



手賀沼船上見学



紙飛行機飛ばし



レザーエ芸



演劇

その2 年9回の学び・仲間づくり②



音楽リズム



ゴールボール



落語鑑賞



リトミック



クッキー作り

その2 ストレッチ&ダンスで生き生きと



その2 みんなで一緒に 湖北台河童太鼓



その3 「学び舎コホミン」を支える 持続可能な仕組み



○事業の企画：**運営協議会**

メンバー：コホミン館長・副館長

特別支援学校市川大野高等学園校長

川村学園女子大教授

地元自治会長

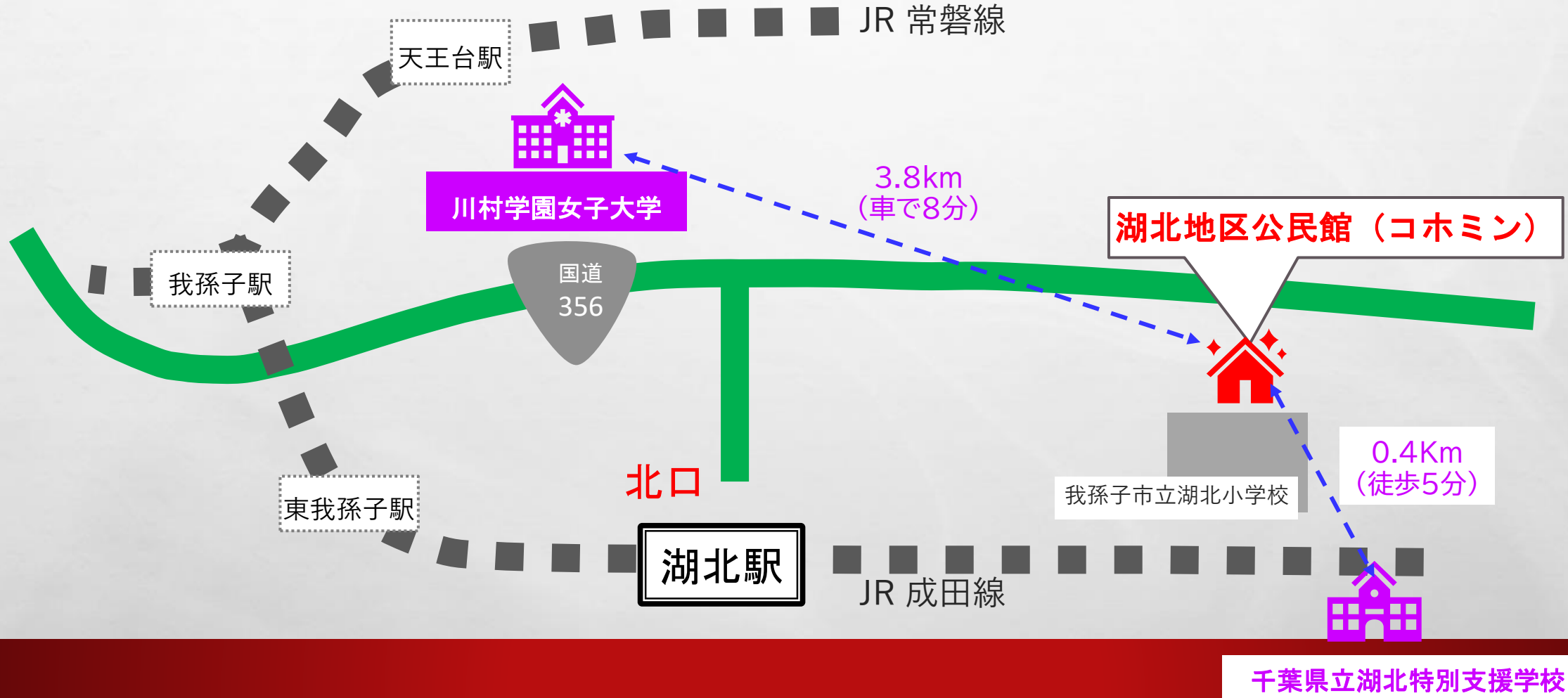
○講座の運営：**公民館職員**

○障害者の支援：**大学生**

○障害者の理解：**湖北特別支援学校**

☆ネットワークづくりが一番大切

その4 連携に結びついた立地条件



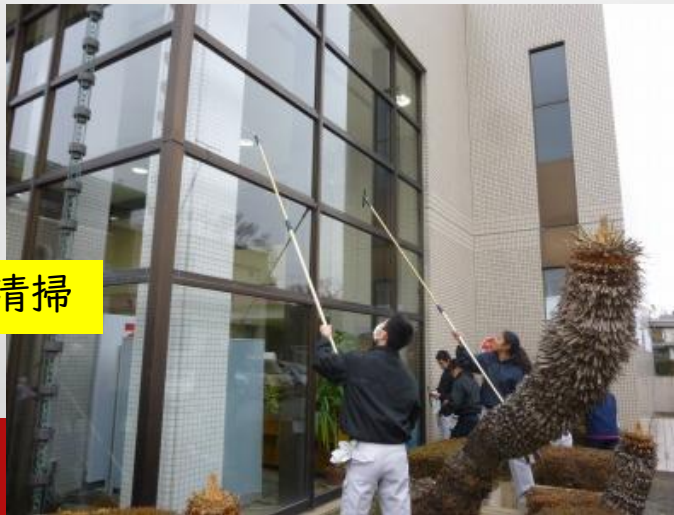
その5 湖北特別支援学校との連携



窓ガラス清掃



パソコンへの入力作業



○毎年、「流通サービス科」の
職場体験実習を受け入れて
来た。



トイレ・流し清掃

その6 劇団コホミンによる「月の王国」上演



○川村学園女子大生, 寺子屋コホミン
参加の小学生(2名), 学び舎コホミ
ン参加の障害者(4名)が出演

○お互いの個性の違いに戸惑いなが
らも, それぞれを認め合うシナリオ。
「障害を持っている人なのに、自分
の役を精一杯頑張っていた。」等の
感想がありました。

○令和4年度「ちば講座アワード」にて
千葉県私立大学短期大学協会長賞



その7 文部科学大臣表彰

～障害者の生涯学習支援～

(令和4年11月22日)



○ 我孫子市長のコメント

「障害者を大事にする事業は市としても大変ありがたい。指定管理者の民間業者が頑張っている。是非、継続して取り組んで頂きたい。」

○令和5年1月5日

- ・我孫子市長・教育長を表敬訪問, 受彰報告
- ・広報あびこ2月号に記事が掲載
- ・ジェイコムTV取材

その8 4年目の成果

成果

- ・リピーターの参加者が多い（参加者が毎年、ロコミで増えている）
1年目➡5名 2年目➡14名 3年目➡17名 4年目➡24名
- ・湖北地区公民館、川村学園女子大学、湖北特別支援学校の役割分担が
確立されてきた
- ・大学生の参加が単位として認められるようになった
- ・学習内容に学びの要素を取り入れてきた（レクのみではない）
演劇、手賀沼の環境、落語、野鳥観察・・・

その9 4年目の課題

課題

- ・内容がマンネリ化していないか（レク系、音楽系、調理系・・・）
- ・重い障害者が参加した場合や定員数を超えた場合の対応を
どうしていくか
（保護者や特別支援学校等とも十分に協議していく）
- ・一般市民向けの講座に参加を希望された場合の対応をどうするか
（共生社会の実現）
- ・指定管理者（公民館）、大学、特別支援学校の担当者が代わった場合に、
「学び舎コホミン」を継続できるか心配である ➡一番切実な課題

ご清聴，ありがとうございました。

コホミン

